

藝文やまなし



王仁塚の桜（韮崎市清哲町）

平成16年3月

Vol.10

CONTENTS

- 今年度の総括2
各事業の結果、県民文化祭の状況
- 総会・研修会のお知らせ3
- 文化賞受賞者紹介4～6
- 部門の紹介7
- いんふおめーしょん8

平成 15 年度の事業を振り返って

山梨県芸術文化協会会長 野 口 英 一



桜前線もしだいに北上し、春の確かな足音を感じる季節となるなか、平成15年度事業も大きな成果を残しながら終了することができることとなりました。

さて、本協会は平成11年3月に「山梨県における芸術各分野の自主的活動の強化促進と連絡強調を図り、その発展を助長するとともに、芸術文化の普及振興と県民文化の高揚に資する」を設立理念として発足し、ちょうど5カ年が過ぎようとしております。

この5年を振り返ってみますと、本協会が県民文化の高揚に果たした役割はまことに大きなものがあります。

その1つに設立理念実現のための各種事業の実施があります。特に県民に直接触れあう事業として山梨芸術劇場と指導者派遣事業があります。

山梨芸術劇場 では

演劇、太鼓、邦楽、音楽などの各部門による公演が毎年6地域で実施されています。身近に舞台芸術の鑑賞の機会が少ない地域の方々にその素晴らしさを伝え、文化活動の底辺拡大に貢献しております。

指導者派遣事業 では

文学、書道、朗読、音楽、演劇、合唱、邦楽、洋舞、茶道、美術、太鼓などの各部門講師を、要請のあった小中学校、市町村の文化団体に派遣しています。芸術文化に興味ある方々を直接指導することでその理解がさらに深まります。反響は大きく、毎年予算を上回る開催要望が届いております。

さらに、山梨県とやまなし県民文化祭実行委員会とで共催している「やまなし県民文化祭」は協会事業の大きな柱であり、本協会が主体的に参加しています。なかでも総合舞台、総合展示は、それぞれの分野で活躍する人たちが融合・調和・協力する中で、新たな文化の創造に向けた取り組みとして着実な成果を上げ、県民の間に定着しつつあります。特に、総合舞台は、まさに県民手作りによる創作舞台として、大きな感動を呼び、県民文化祭のメイン行事となるにふさわしい取り組みとなっています。各部門が主体となる部門別フェスティバルは県芸術祭の時代にはなかった太鼓部門や、ポピュラー音楽が参加することでより充実したものとなりました。

今後とも、新たな参加部門の掘り起こしなどにより、一人でも多くの県民が参加できる「やまなし県民文化祭」を目指していきたいと考えております。

来年度以降も、さらに会員の皆様の御協力を頂き、芸術文化の底辺拡大を図り、文化の香り高い山梨を目指していきたいと思っております。

総会及び会員研修会のお知らせ

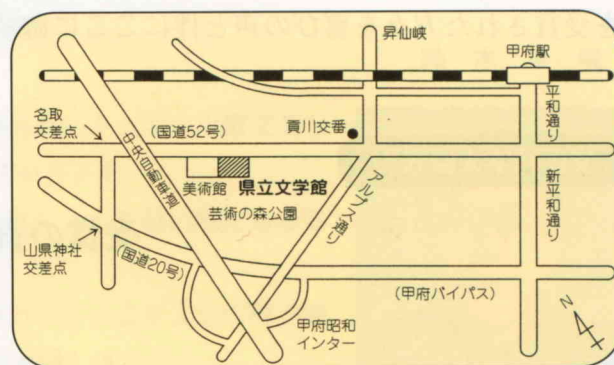
平成16年度の総会・会員研修会が以下の通り開催されますのでお知らせいたします。

○総 会

日 時 平成16年4月29日(木) みどりの日
午後1時30分

場 所 山梨県立文学館 講堂
甲府市貢川一丁目5-35

主な議題 ○平成15年度事業及び決算について
○平成16年度事業及び予算について
○その他



○会員研修会

総会に引き続き、会員研修会が開催されます。

今年度は塩山市在住で、名著「はっばのフレディーいのちの旅ー」や、数々の絵本の翻訳で活躍している
みらい・なな先生を招いての講演会を開催いたします。

多くの皆様のご来場をお待ちしております。



【講師：みらい・なな先生 プロフィール】

みらい・なな (絵本翻訳家)

1940年朝鮮(現在の大韓民国)テグ(大邱)に生まれ、戦後日本に引き揚げる。
東京都出身。

1962年青山学院大学英文科卒。

欧米テレビ映画の翻訳、私立小学校の英語講師、外資系出版社勤務を経て翻訳
の仕事に携わるようになる。

世界的絵本作家シャーロット・ゾロトウの絵本の翻訳をライフワークとし、こ
れまで14冊を童話屋より出版。

その他アメリカの絵本作家リン・チェリーの絵本3冊も翻訳出版。

1992年より東京の住いを山梨県塩山市に移し、葡萄など果樹や野菜、花づくり
に励む。

1998年アメリカの哲学者レオ・パスカーリアの絵本「葉っぱのフレディーいのちの旅ー」を翻訳出版(童話
屋)、ベストセラーとなる。

現在

山梨英和大学人間文化学部講師

塩山市立図書館分館^{かんざう}甘草屋敷子ども図書館名誉館長として「絵本読み」を実践している。



◆問い合わせ先 山梨県芸術文化協会事務局(県生涯学習文化課内)

Tel 055-223-1797 Fax 055-223-1322

各受賞者の紹介

平成15年度に山梨県芸術文化協会の関係者で、「文部科学大臣表彰」、「県政功績」、「山梨県文化賞」を受賞された方々を喜びの声と共にここに御紹介いたします。

文部科学大臣表彰

受賞の責任は還元活動で

天 野 宣



名誉の賞を拝受する時は決して私に其の資格が？と考える。

そして己を振り返ると、過去の実績不足と言う答えが出る。

県を通じて文化功労、県政功績の賞に、此の度の文部科学大臣賞を続けて戴く度に同じ事を考えた。この状態に陥ると、物凄い重圧感を覚え息苦しい程に緊張する。解決策は一つ、遅れ馳せ乍ら活動不足分、県内外を回り演奏、講演、指導、と少しでも、お恥ずかしき限りだが還元活動の名に於て不足分の穴埋めをして来た。大勢の門弟達は私の曲の伝承者であると同時に、支援者でもある。

日本の民謡芸能伝承活動で戴く賞は、私個人の事に非ず、会の公の通過儀礼即ちイニシエーションと考え、次のステップへの通過する足掛りと成り、最高の贈りものを戴けたと全国天野会あげて感謝で拝受した。此の度の文部科学大臣賞に関する還元作業は、ヨーロッパからアジアに目を向けカンボジア国アンコールワットでの演奏、交流、支援、の三本立てを実現す可く目下仕込みの真っ最中なのである。

県 政 功 績

50余年を回顧して受賞の喜び

中 村 淳



今回はこのような大きな賞をいただき、ただただ光栄に存じております。

これを機に、思い出の大きな行事を回顧すれば、昭和61年のかいじ国体40余日合唱指導で通いつめた小瀬会場、そして、新しくは平成13年、近年にない大雪の中の第56回冬季国体（富士急ハイランドセイコオーバル）そして同年5月、天皇皇后両陛下をお迎えしでの第52回全国植樹祭、あのみずがき山麓での国歌、君が代の指揮棒をふった感動。全て式典音楽実行委員、ある時は副委員長としての指導、一方県芸術祭専門委員、副委員長として、芸術祭総合舞台甲斐のふるさと「色彩考」芸術祭50周年記念「交響詩やまなし」平成12年総合舞台「千代田湖伝説」平成13年オペレッタ「こうもり」そして第2回県民オペラ「カルメン」等々その企画と指導に明け暮れた半世紀、苦しくも成功した時の喜びと感動を励みに夢中でやってきた50余年でした。今このような賞をいただきご協力、ご理解をいただいた多くの方々のお陰と感謝申し上げ筆を置きます。

県文化賞・奨励賞をいただいて

鈴木 東 峰

このたびの受賞は、個人的にとどまらず、多くの柳人の御努力によって、川柳文芸として、社会的にも認めて戴いたと思われすことを、感謝しております。

柳祖、篠原春雨先生の伝統を引く、山梨の川柳の普及と発展に、よき追い風ともなることを喜んでおります。

地味な一面もある活動ですが、今後共、関係者が交流、協力して、よき文化の町が樹立されることに、私も微力を尽したいと思う次第です。有難う御座いました。



県文化賞・奨励賞をいただいて

齋 藤 武 士

一九八二年より県芸術祭、そして県民文化祭と美術部門の専門委員としてかかわって来ましたが、振り返ってみると県内の美術状況は油絵ではなくては絵画にあらずの感でしたが、山梨美術協会と時期を同じくして県芸術祭に版画部門を設けるに当り専門委員としてかかわって来ましたが、県立美術館の実技講座等で版画を試みる人も増え年々応募者も増え、芸術祭賞も版画部門より何人かの受賞が出るに至りました。他部門に比べ若い人達が多いのも今後が期待されるところです。萩原英雄、深沢幸雄らの版画家を輩出した山梨の地に版画を志先す若い人達が着実に育っていることを共に喜びたいと思います。



県文化賞・奨励賞をいただいて

静雅 石 井 武

この度は、栄誉ある山梨県文化賞奨励賞を頂戴いたし、身に余る光栄と深く感謝申し上げます。

書の姿を求めて五十有余年、私は主として仮名書道の研究に取り組んでまいりました。仮名は日本の風土の中で生まれ、最も日本らしい姿をした書であり、まことに魅力に富んだ世界であります。しかし、私の書の歩みは拙く遅々としたものであります。

従って、山梨の書道振興への貢献という観点からみても、あまりにも微力であり、今回の受賞はまことに汗顔の至りであります。

近年の山梨の書道は、先輩諸賢の後に続いて大勢の若い人達が挙って上京し、本格的な書の研究を進めている状況があり、まことに喜ばしい傾向にあります。

私も微力ではありますが、同好の方々と力を合わせ、県内書道文化向上の為に今後とも力を尽して参りたいと思っております。



県文化賞・奨励賞を受賞して

志 村 健

この度、はからずも県文化賞、奨励賞を頂き誠に身に余る光栄と心より感激いたしております。

思えば40年余前に内仕事の為、運動になればと始めた趣味の写真が写団連のお手伝いをさせて頂き張りの有る年月でした。

それがこの度の受賞でほんとうによかったと感謝しております。

これも諸先輩の先生方をはじめ写友の皆様方の御指導の賜ものと存じます。

これからも微力ながら文化振興のお役にたつべく写真部門にて皆様の御力を頂きながら努力して参りたいと思います。



「しつかり虫をたける」

槇 田 文 雄

謡曲は人生を豊かにし、又その創始者や先人達の言行は人の生き方について多くの事を教えています。直接私に関った方々の次の言葉も忘れられない言葉です。

「しつかり虫をたける」「謡曲も本説正しくないといけません」前者は既に鬼籍に入られて久しい最初の師の言葉で「謡いを正しく身につけさせる」の意味、後者は師事した能楽師の言葉です。教授嘱託の資格を得て同好会を作り、微力乍ら流儀の普及に努める現在も能楽師の稽古を受け、研修会、各種大会にほぼ欠かさず参加するという私の有り様の原動力となっている言葉です。

この度、四十余年の謡曲への取り組みが評価され、流友の推薦も頂き受賞の栄に浴したことを喜びとし、私を支えて下さった人々に感謝の意を表する次第ですが、私の原点ともいえるこの言葉は普遍性をもつものとし大事にしていきたいと思っています。



山梨県文化賞特別感謝状

お礼のことば

故 牧 宏 妻 谷 子

喜びと悲しみの、平成十五年秋でございました。

昨年十一月思いがけない 立派な山梨県文化賞特別感謝状を頂戴する事ができた故(牧宏)でございます。

盛大な式典と喜びひとしおの皆様方の中に、笑顔の写真と私、娘もお招き戴き心からお礼申し上げます。

長い間芸術文化協会、又県の仕事にお手伝い出来勉強させて頂いた事は、皆様方のお力添えがあったからと、常に人生の喜び又生き甲斐を感謝して生きて来た主人でした。元気でいて賞が頂けたならばより感激ひとしおだったろうと想像致しております。任務中途にして三月他界した主人さぞ無念だったろうと思われまふ。県会長様、はじめ芸術協会の皆様、長い間お世話になりました。有難うございました。

心よりお礼申し上げます。



部 門 の 紹 介

写真部門の紹介

山梨県写真団体連絡協議会長 村 松 正 人

山梨県芸術文化協会に発足以来加盟している山梨県写真団体連絡協議会は、県下各地のアマチュア写真クラブ37団体で組成され、会員数は720余名に及んでいます。クラブの所在を地域的にみますと、甲府市をはじめとして各市、中巨摩郡、東山梨郡、東・西八代郡、郡内などほぼ全県的に分布し、文字通り県下最大の写真関係団体として、多彩な活動を展開しています。

活動の中で最も重点的な取組みは、協議会の目的にも掲げてあるとおり「県民文化祭・芸術文化協会・その他の事業を行い、写真文化の向上発展を図る」ことにあります。

会の県芸術祭への参画は、昭和24年からでありますからその歴史は古く、以来役員諸氏は、会場、作品応募、審査員等幾多の困難性を乗り越え、今日の県民文化祭に及んでいます。その他の事業としましては、過去毎年続いた県芸術祭協賛大撮影会、クラブ選抜写真展、そして近年では、平成14年から始まった協議会合同展などがあります。特に合同展は、加盟30クラブから風景、スナップなどの自由作品が約150点出展され、写真表現の多様性とアマチュア写真のレベルの高さを各界から評価されているところです。その作品の一部は、サンニチ印刷のカレンダーにも掲載され、郷土山梨の自然の美しさを県内外にPRする一助に貢献しているところです。

さて、ここで加盟クラブの特長にふれてみたいと思います。各クラブはそれぞれ特色をもち、例えば被写体を「祭り」に求めて、県内外へ撮影行を実施しているクラブもあれば、ネイチャーフォトを追求するクラブなど多様で、その精力的な活動状況には目を見張るものがあります。これらの成果は、グループ写真展として各地で開催され、多くの県民の皆様写真表現の素晴らしさを投げかけています。

一方、写真活動の中で見逃せないのが記録性です。各地のクラブでは組織的に「我が町、我が村」の記録を写真によって残そうと、いろいろな形で取組んできています。例えば各種行事の記録だとか、町村勢要覧・広報・観光パンフレットへの協力など、アマチュアの利点を生かしながら地域への貢献も、写真ならではの活動といえるでしょう。

写真人口の増加はいまさら申すまでもありませんが、最近コンパクトカメラ、デジタルカメラの普及で、写真はテレビを見るように、CDを聴くように、気軽な日用品の一つみたいになっています。カメラの操作もほとんど



がオートマチックで、シャッターを押せばだれでもきれいな写真が写せます。こうした時代の中にあって協議会の会員は大多数が趣味として写真を楽しむ人々であります。が、一般の記念写真的な写真からの脱皮を目指し、自己表現の手段として感性をみがき「作品」を作るという強い意志をもって、研鑽に励んでいるところです。

デジタルカメラの急速な普及もあり、これからの写真界も大きな変化が予想されます。高齢化している会員が、これらの変化にどう対応していくかが、これからの大きな課題であると思います。

書 道

- 第1回坂本恵華個展
期日 4月4日(金)～6日(日) 会場 情報プラザ
- 第13回千羽会展
期日 4月10日(木)～13日(日) 会場 情報プラザ
- 第52回玄遠展
期日 6月8日(日)～14日(土) 会場 県立美術館
- 第2回山梨県四川省日中交流書道展
期日 6月15日(日)～21日(土) 会場 県立美術館
- 第7回墨雅会展
期日 7月18日(金)～21日(月) 会場 情報プラザ
- 第22回昭書会展
期日 8月22日(金)～25日(月) 会場 情報プラザ
- 第33回梨郷会展
期日 8月23日(土)～27日(水) 会場 県民会館地下

合 唱

- 16年度定期総会
期日 4月17日(土)
- 第44回県合唱祭
期日 6月19日(土)～20日(日)
会場 桃源文化会館
- 県合唱講習会
期日 7月実施予定

華 道

- 第14回山梨県華道協会展
日時 平成16年4月9日(金)～14日(水)
会場 岡島百貨店 7階大催事場

写 真

- 第3回山梨県写真団体連絡協議会合同展
会期 平成16年6月27日(日)～7月3日(土)
(初日は12:00から、最終日は午後3時まで)
会場 山梨県立美術館一般展示室
内容 連絡協議会加盟の37写真クラブが出展する150点の自由作品の展示。
- 第11回山梨写真研究会会員展
会期 平成16年8月27日(金)～9月2日(木)
(初日は11:00から、最終日は午後3時まで)
会場 山梨県立美術館一般展示室B
内容 会員30名の自由作品100点を展示

邦 楽

- =竹の和= 尺八演奏会
日時 平成16年4月10日(土) 午後1時開演
場所 山梨県民文化ホール(小)
- 山梨三曲連盟演奏会
日時 平成16年5月23日(日) 午後1時開演
場所 山梨県民文化ホール(小)
- 山梨三曲協会春季演奏会
日時 平成16年5月30日(日) 午前1時開演
場所 山梨県民文化ホール(小)
- 山梨観世流同好会春の大会
日時 5月の下旬 時間未定
場所 湯村常磐ホテル

洋舞 バレエ

ユミクラシックバレエスタジオ(主宰 深沢由美)の第10回発表会を2004年4月24日(土)午後3時より(開場午後2時30分)県民文化ホール大ホールにて行います。メインは「コッペリア」全幕。明るく楽しい舞台を是非ご覧下さい。他に小品集、グラン・パ・ド・ドウなど。ゲストには斎藤拓さん、三木雄馬さんら第一線のダンサーをお迎えします。
全席自由3千円。253～2100深沢まで。

花香り、夢集う

第14回 山梨県華道協会展

2004年4月9日(金)～14日(水) 午前10時～午後7時
<10日(土)・12日(月)は午後3時終了・14日(水)は午後5時終了>
岡島百貨店 7階大催事場

出展流派名
(79名参加)

池 坊	池 坊	池 坊	池 坊
池之坊御城流	池之坊御城流	池之坊御城流	池之坊御城流
遠州古流二葉会	遠州古流二葉会	遠州古流二葉会	遠州古流二葉会
小 原 流	小 原 流	小 原 流	小 原 流
花 笠 安 達 流	花 笠 安 達 流	花 笠 安 達 流	花 笠 安 達 流
華 道 雲 心 流	華 道 雲 心 流	華 道 雲 心 流	華 道 雲 心 流
月 豊 古 流 育 風 流	月 豊 古 流 育 風 流	月 豊 古 流 育 風 流	月 豊 古 流 育 風 流
安 道 流	安 道 流	安 道 流	安 道 流
古 流	古 流	古 流	古 流
古 流 指 光 会	古 流 指 光 会	古 流 指 光 会	古 流 指 光 会
昇 玉 流	昇 玉 流	昇 玉 流	昇 玉 流

主催 山梨県華道協会
後援 山梨県/甲府市教育委員会/山梨県芸術文化協会/山梨県日新聞社/山梨放送/山梨テレビ山梨
(後)岡島百貨店/山梨県民文化協会

